

# 第87期

## 中間報告書

平成21年4月1日から平成21年9月30日まで

- P1 株主のみなさまへ
- P2 営業の概況
- P3 財務情報
- P5 完成・受注工事のご紹介
- P6 技術のご紹介

# トップメッセージ

株主のみなさまへ

## 想いを、つなぐ。

建設業の原点は、人と人とのかかわりです。  
たくさんの想いをつなぎ、  
気持ちをひとつにして取り組んでいくことで、  
真に価値あるものをつくり上げてまいります。

### ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当上半期（平成21年4月1日～平成21年9月30日）における我が国の経済は、個人消費や輸出に持ち直しの動きが見られたものの、企業収益の大幅な減少、雇用情勢の一段の悪化など、全体としては、景気は非常に厳しい状況が続きました。建設業界におきましても、企業業績の急速な悪化に伴う設備投資の減少を受け、極めて厳しい状況が続いております。

こうした経営環境の中、当社では、本年4月よりスタートした「中期経営計画」に基づき、建設ライフサイクルへの取り組みを核とする収益体制の再構築に取り組んでおります。また、ストック重視のビジネスモデルへの転換を図り、「より深く、より長く、お客さまに貢献する

ソリューション・カンパニー」として持続的な成長を確保してまいります。

景気の先行きには不透明感を残しており、当下半期も予断を許さない状況が予想されますが、事業活動にあたりましては、ステークホルダーの方々の想い一つひとつを真摯に受け止め、引き続き、当社ならではの価値のご提供に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年12月

代表取締役社長

井上舜三

## ▶ 営業の概況

当上半期（平成21年4月1日～平成21年9月30日）における当社グループの連結売上高は1,373億円と、前年同期比3.9%減となりました。利益面につきましては、営業損失26億円、経常損失21億円となりました。また、貸倒引当金繰入額10億円などを特別損失に計上し、四半期純損失は15億円となりました。

なお、事業の種類別セグメントにおける業績は、以下のとおりとなっております。

### ■ 建設事業

国内の建設市場は、企業業績の悪化に伴う設備投資の大幅な減少を受け、極めて厳しい状況が続いています。

こうした中、完成工事高は1,313億円となりました。利益面につきましては、完成工事総利益77億円、完成工事総利益率は5.9%となりました。

なお、建設事業におきましては、建設工事の完成引渡

しが下半期に集中していることに伴う季節的変動があり、一方で人件費その他の固定費は期間経過に応じて発生することから、上半期においては売上高に対する割合が大きくなる傾向があります。

また、当社個別の建設受注高につきましては、民間工事（国内）が1,247億円、官公庁工事（国内）が418億円となり、全体（海外含む）では1,679億円（建築1,418億円、土木260億円）と、前年同期比11.9%減となりました。

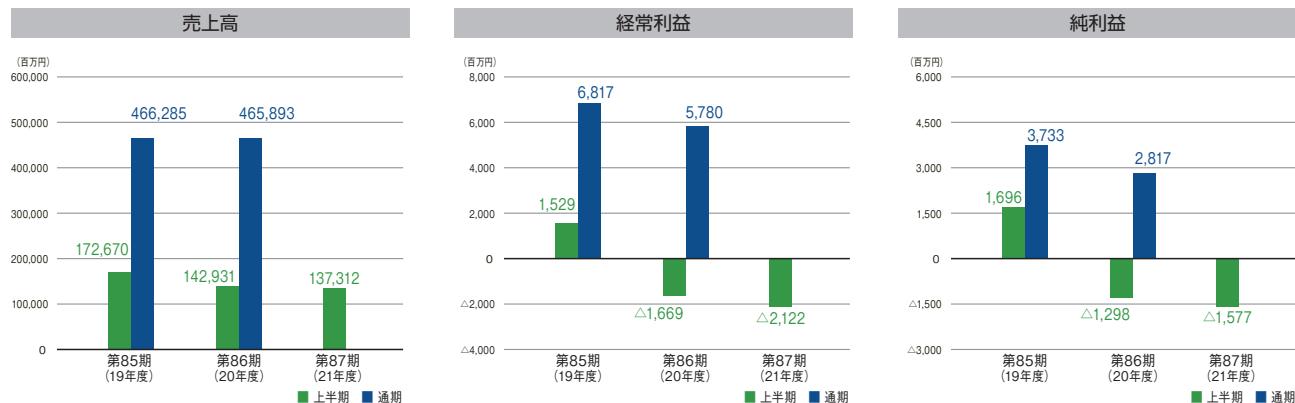
### ■ 不動産事業

賃貸および建設事業に付帯する販売を中心に事業を展開し、不動産事業売上高は56億円となり、売上利益は17億円となりました。

### ■ その他の事業

子会社におけるホテル事業を中心に、売上高338百万円、売上利益150百万円となりました。

## 財務ハイライト（連結）



# 財務情報

## 第87期上半期決算情報

### ■ 資産の部

譲渡性預金の増5,000百万円、未成工事支出金の増33,538百万円、保有株式の時価上昇に伴う投資有価証券の増16,384百万円などにより増加しましたが、売上債権の回収に伴う受取手形・完成工事未収入金等の減45,644百万円などにより、前期末より4,684百万円の増加となりました。

### ■ 負債の部

未成工事受入金の増29,838百万円、長期借入金の増2,131百万円などにより増加しましたが、支払手形・工事未払金等の減28,954百万円などにより、前期末より595百万円の減少となりました。

### ■ 純資産の部

配当などによる利益剰余金の減3,711百万円、自己株式の取得による減1,012百万円、保有株式の時価上昇に伴う投資有価証券評価差額金の増9,811百万円などにより、前期末より5,280百万円の増加となりました。

## 連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

	当上半期 平成21年9月30日現在	前期 平成21年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	347,016	353,408
固定資産	199,163	188,086
有形固定資産	84,306	83,343
無形固定資産	1,973	1,975
投資その他資産	112,883	102,767
資産合計	546,179	541,495
<b>負債の部</b>		
流動負債	302,222	306,235
固定負債	57,130	53,713
負債合計	359,353	359,948
<b>純資産の部</b>		
株主資本	163,478	168,201
資本金	23,001	23,001
資本剰余金	25,595	25,595
利益剰余金	121,254	124,965
自己株式	△ 6,372	△ 5,360
評価・換算差額等	19,105	9,114
その他有価証券評価差額金	15,832	6,021
繰延ヘッジ損益	△ 1	20
土地再評価差額金	4,443	4,497
為替換算調整勘定	△ 1,168	△ 1,425
少数株主持分	4,242	4,230
純資産合計	186,826	181,546
負債純資産合計	546,179	541,495

### 受注高 (個別)



### 売上高 (個別)



### 繰越高 (個別)



## 連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

	当上半期	前上半期
	平成21年4月 1日から 平成21年9月30日まで	平成20年4月 1日から 平成20年9月30日まで
売上高	137,312	142,931
売上原価	127,682	132,997
売上総利益	9,630	9,933
販売費及び一般管理費	12,323	12,360
営業損失（△）	△ 2,693	△ 2,426
営業外収益	1,115	1,369
営業外費用	544	612
経常損失（△）	△ 2,122	△ 1,669
特別利益	573	405
特別損失	1,380	1,099
税金等調整前四半期純損失（△）	△ 2,930	△ 2,364
法人税等	△ 1,353	△ 1,121
少数株主利益	1	55
四半期純損失（△）	△ 1,577	△ 1,298

## 連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

	当上半期	前上半期
	平成21年4月 1日から 平成21年9月30日まで	平成20年4月 1日から 平成20年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,234	△ 4,050
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,549	△ 4,040
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,509	△ 3,464
現金及び現金同等物に係る換算差額	73	△ 72
現金及び現金同等物の増減額	4,248	△ 11,629
現金及び現金同等物の期首残高	39,302	52,258
現金及び現金同等物の四半期末残高	43,551	40,629

### ■ 事業の種類別セグメントの状況

- ・建設事業の売上高は131,338百万円（前年同期比4.2%減）、完成工事総利益は7,731百万円（同0.4%減）となりました。
- ・なお、当上半期より「工事契約に関する会計基準」に則り、工事進行基準を適用しています。この変更に伴い、従来の方法に比較して売上高は5,113百万円増加し、営業損失は282百万円減少しております。
- ・不動産事業については売上高が5,634百万円（同1.1%増）、不動産事業総利益は1,748百万円（同13.6%減）となりました。
- ・その他の事業については、売上高338百万円（同5.4%増）、その他の事業総利益は150百万円（同4.0%増）となりました。

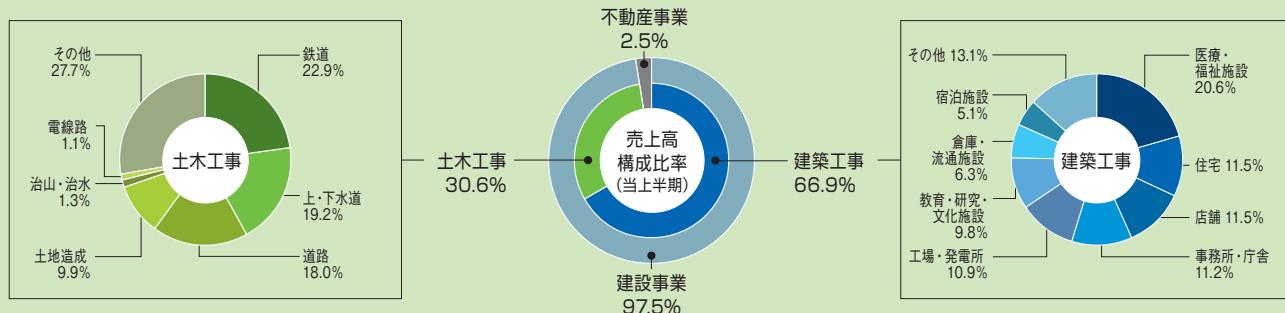
### ■ 連結キャッシュ・フロー計算書

- ・当上半期末の現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は前期末に比べ4,248百万円（10.8%）増加し、43,551百万円となりました。
- ・営業活動としては、売上債権の減少及び未成工事受入金の増加に伴う資金増、未成工事支出金の増加及び仕入債務の減少に伴う資金減等により8,234百万円の資金増加となりました。
- ・投資活動としては、有形固定資産の売買等により1,549百万円の資金減少となりました。
- ・財務活動としては、借入金の増加により資金が増加しましたが、配当金の支払及び自己株式の取得等により2,509百万円の資金減少となりました。

### ■ 売上高・販売費及び一般管理費

- ・建設事業においては、建設工事の完成引渡しが下半期に集中していることに伴う季節的変動があり、一方で人件費その他固定費は期間経過に応じて発生することから、販売費及び一般管理費の売上高に対する割合が大きくなっております。

事業種類別 売上高構成比率（個別）



## 完成・受注工事のご紹介

当社では、機能性や品質に優れ、安心・安全で、環境に配慮した建設物を実現することで、建設業としての企業の社会的責任を果たしています。当上半期における主な完成・受注工事をご紹介します。

### 丸井喜多ビル（新宿マルイ本館）



工事名称 (仮称)新宿三丁目共同ビル新築工事(A工事)  
工事場所 東京都新宿区  
発注者 (株)丸井・喜多崇介氏 他  
竣工月 平成21年4月  
工事概要 S造・SRC造 地上8階 地下2階  
床面積21,267.34㎡  
用途 店舗

### 浮間水再生センター砂ろ過施設その9



工事名称 浮間水再生センター砂ろ過施設その9工事  
工事場所 東京都板橋区、北区（浮間水再生センター内）  
発注者 東京都下水道局  
竣工月 平成21年8月  
工事概要 急速ろ過池14面、塩素接触槽、放流ポンプ室  
用途 砂ろ過施設

### ■ 当上半期における主な完成工事

- ・(医)仁悠会 吉川病院移転新築工事・有料老人ホーム新築工事
- ・(株)アンダンテ
- ・(株)中央倉庫 (仮称)東京支店茨城営業所A号倉庫新築工事
- ・千駄ヶ谷開発特定目的会社 (仮称)千駄ヶ谷4丁目ビル新築工事
- ・徳島大学 (医・歯病)西病棟新営その他工事
- ・(株)シンシア 横浜金沢シンシアR・Cセンター建設工事

### ■ 当上半期における主な受注工事

- ・(学)麻布獣医学園 麻布学園(仮称)新3号館・エネルギーセンター・新体育館建築工事
- ・相模野病院 社会保険相模野病院建替工事
- ・三菱商事(株) (仮称)南砂2丁目計画
- ・(学)立教学院 立教大学(仮称)複合棟2新築工事、(仮称)新15号館新築工事
- ・西日本高速道路(株) 四国横断自動車道 徳島インターチェンジ工事
- ・西日本高速道路(株) 新名神高速道路下音羽工事

## 良質な建設物を次世代へ

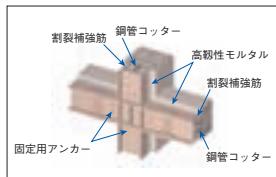
「良いものを安心して・安全に長く使う」「愛用してきたものに新しい価値を吹き込む」こうしたお客さまのニーズにお応えする技術を開発・提案しています。

当社は建設物のライフサイクルの各段階において、お客さまはもとより、広く社会にとって役立つソリューション技術を開発し、お客さまの各種の要望に応えています。当社が提供する技術の一部をご紹介します。

### 戸田式耐震補強工法

#### 完全居たまま施工で耐震補強

近年、建物に被害が生じる地震が複数発生し、耐震補強への関心が高まっています。特に工事期間中もお客さまが別の場所に移転する必要のない、居たままの耐震補強工事への要望が急増しています。当社は、その要求に応え、低騒音、低振動、少粉塵といった環境に優しい技術で、高品質・低コストを可能にした当社独自の耐震補強工法「鋼管コッター工法」を開発し、お客様に提案しています。弁天プラザビル耐震補強工事（新潟県新潟市）では、お客さまからの「居たまま施工」と「短い工期での完成」という要望に応えることができ、国土交通省の「住宅・建築物耐震改修モデル事業」に採択されています。



外付け鉄骨フレーム（外観図）



弁天プラザビル  
（補強工事完成後・建物外観）

### 急速立体交差技術「すいすいMOP工法」

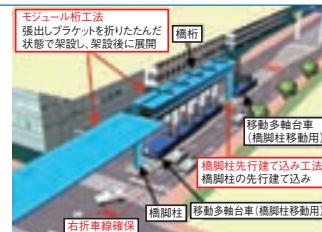
#### 工期短縮と工事中の渋滞緩和を両立

都市部の主要な平面交差点では、慢性的な交通渋滞が発生しており、都市の経済活動だけでなく、周辺環境や地球環境にも悪影響を及ぼしています。この

ため、交差点の立体化工事が進められていますが、交通量の多い既設道路上での工事となるため、施工期間が長期化するとともに、工事に伴うさらなる交通渋滞が発生しています。当社は、これらの課題を解決するため、三菱重工鉄構エンジニアリング（株）と「すいすいMOP工法」を共同開発し、国道2号岡山市内立体高架橋工事及びたつみ橋交差点立体化工事に適用して、工期の大幅な短縮と工事中の渋滞緩和を実現しました。今まで、これら2件の施工実績



国道2号岡山市内  
立体高架橋の施工状況



「すいすいMOP工法」概念図

により、社会貢献したことが評価され、平成19年度土木学会賞技術開発賞、平成20年度エンジニアリング功労者賞を受賞しております。

## ■ 会社概要

(平成21年9月30日現在)

### ● 主な事業所等

本店 (東京都中央区京橋一丁目7番1号)

- ・ 東京支店 (東京都中央区) ・ 千葉支店 (千葉市) ・ 関東支店 (さいたま市)
- ・ 横浜支店 (横浜市) ・ 大阪支店 (大阪市) ・ 北陸支店 (金沢市)
- ・ 名古屋支店 (名古屋市) ・ 札幌支店 (札幌市) ・ 東北支店 (仙台市)
- ・ 広島支店 (広島市) ・ 四国支店 (高松市) ・ 九州支店 (福岡市)
- ・ 国際支店 (東京都中央区)

技術研究所 (つくば市)

海外営業所および駐在員事務所

- ・ シンガポール営業所 (シンガポール)
- ・ バンコック地域統括事務所 (タイ)

子会社

- ・ 千代田土地建物株式会社 (東京)
- ・ 戸田道路株式会社 (東京)
- ・ ブラジル戸田建設株式会社 (ブラジル)
- ・ アメリカ戸田建設株式会社 (アメリカ)
- ・ 戸田建設工程 (上海) 有限公司 (中国)

### ● 従業員の状況

従業員数 5,130名 (連結) 4,234名 (個別)

### ● 取締役および監査役

取締役名誉会長	戸田 順之助	常勤監査役	戸田 守 道
取締役相談役	戸田 守 二	常勤監査役	内 藤 博 之
代表取締役会長	加 藤 久 郎	監査役	鍛 冶 良 明
代表取締役社長	井 上 舜 三	監査役	増 田 健 一
代表取締役	白 井 正 幸	監査役	鈴 木 勝 利
代表取締役	岡 敏 朗		
取締役	鈴 木 道 雄		
取締役	戸 田 秀 茂		

(注) 監査役鍛冶良明氏、増田健一氏および鈴木勝利氏は、社外監査役であります。

## ■ 株式の状況

(平成21年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 759,000,000株
- 発行済株式の総数 322,656,796株
- 株主数 14,499名
- 大株主

	株主名	持株数 (千株)
大一殖産株式会社		32,170
戸田順之助		31,722
ノーザントラストカンパニー (エイブイエフシー)		20,414
サブアカウントアメリカンクライアント		
株式会社三菱東京U F J 銀行		14,821
日本トラスティ・サービス		12,985
信託銀行株式会社 (信託口)		
戸田守二		11,352
ノーザン トラスト カンパニー エイブイエフシー リューエス		8,132
タックス エグゼンプテド ベンション ファンズ		
株式会社みずほ銀行		7,107
三宅良彦		7,087
シービーニューヨークオービス		6,991
エスアイシーアーヴィー		

(注) 上記のほか当社所有の自己株式10,588千株があります。

## ■ 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
配当金受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL.0120-232-711 (通話料無料)
上場金融商品取引所	東京証券取引所、大阪証券取引所
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL <a href="http://www.toda.co.jp/">http://www.toda.co.jp/</a> ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。

### (ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等) で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人 (三菱UFJ信託銀行) ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関 (三菱UFJ信託銀行) にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

# ◎ 戸田建設株式会社

〒104-8388 東京都中央区京橋一丁目7番1号  
TEL. (03) 3535-1357  
<http://www.toda.co.jp/>



本報告書は、環境保全のため、大豆インクで印刷しています。



FSC 認証証書及び管理された森林からの産物です  
www.fsc.org Cert no. SA-COC-1442  
© 1996 Forest Stewardship Council